

長岡造形大学 視覚デザイン学科webサイト

視覚2年 173107 山浦真穂

ターゲット：視覚デザイン学科を志望する高校生（高校2年の弟をイメージ）

閲覧場所：家、学校（授業時）

コンセプト：視覚デザイン学科の在学生在が普段の授業を通して何を学び、学んだ事をどう活かしているのか、どんな活動をしているのか具体的に知ること、視覚デザイン学科に興味を持ってもらおうと共に、自身が入学したイメージを持ってもらおう。そうすることで入学後にやりたいことが具体化しやすくなり、志望する気持ちをさらに高める。

最終目標：資料請求してもらう

- ・ 学生、作品が写った写真を多く使用
→ 学校生活、授業などイメージしやすい



全5枚で、視覚デザイン学科についての紹介も載っています。

・視覚デザイン学科をさらに分類

→その人に合った視覚デザイン学科の分野が詳しく見れます。

視覚デザイン学科の対象となる分野（**広告、ポスター、マーク・ロゴ、イラストレーション、Web、映像、写真、ゲーム、アニメーション、本の装丁**）について理解を深められます。気になる分野をクリックしてみましょう！

scroll



- ・クリックしやすいよう、押せる場所はマウスオーバーに。
→カーソルを合わせると色が変わります。



映像 | 崎山直人

**新潟県内を巡り、
映像作品を制作！**

映像基礎演習を生かし、新潟県を舞台とした様々な映像作品を仲間と制作。



写真 | 持田美文

撮影した写真を2週間展示！

写真基礎演習を生かし、ポートレートや景色の写真を撮影！
撮影した写真は街中キャンパスで展示！



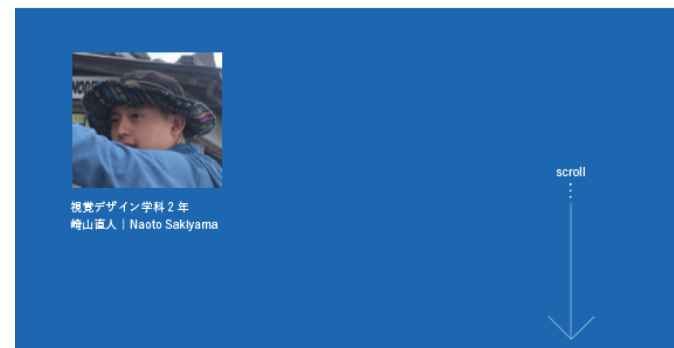
イラストレーション | 川俣直子

長岡駅前でイラストを描く！

アートイベントで長岡駅前周辺でイラストを公開制作する機会がありました。

・学生を取り入れる

→実際に取材をして、学生がどんな作品を課題や自主制作で制作しているか詳しく聞きました。
(学校生活や授業の雰囲気イメージさせやすくする為)



小学時代、3DCGを制作する機会をきっかけに、映像に興味を持った崎山直人さんは、2年生の前期と後期に選択して受講できる映像基礎演習と、1年時から所属する映像サークルでの経験を生かし、映像作品を制作します。映像基礎演習では「逆」をテーマに、4人で作品を制作。映像サークルでは2ヶ月に1本作品を作り、1週間で1本作ることもあるそうです。



現在、映像作品の数は10本以上。映像作品を制作する為、撮影は新潟県内を巡ります。新潟市、長岡市、小国町、新潟市、寺泊、新潟市に撮影に行くことが多いそうです。撮影時のカメラは自身の一眼レフとGoProを使用しています。



映像作品を制作するにあたってリズム感をつけているという崎山さん。制作をして一番楽しいのは編集作業だそう。「撮影した動画を編集してくっつけてみないとわからない部分が多くて、そこが醍醐味もあり、すごく楽しい」と、崎山さんは言います。



現在制作しているのは自転車ブランドRUNWELLのPV。ヨーロッパに遠出する為、実際に知らない場所を走ったそうです。「撮影方法や内容がスクリーンの中で完結するのではなく、インタラクティブなものが作れるようになります」と今後目標する作品についても話してくれました。

[BACK](#)[BACK](#)

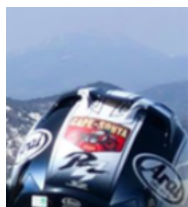
映像 | 崎山直人

新潟県内を巡り、
映像作品を制作！

映像基礎演習を生かし、新潟県を舞台とした様々な映像作品を仲間と制作。

視覚デザイン学科2年
崎山直人 | Naoto Sakiyama

scroll



学生取材ページについては実際の授業を通して学んだことや授業を生かして現在制作している自主制作、自主活動について詳しい内容にしました。また、学生の紹介も入れ、学年など、先輩方の活躍を知れます。

ページ自体が長い為、トップに戻るボタンもつけました。BACKのボタンでホームに戻れます。

- ・最終的にはサイトを見て資料請求してもらう
→クリックしやすいようマウスオーバーに。
実際の大学の資料請求ページに飛べます。



まとめ

- ・ 分かりやすく見やすいようにシンプルに。
- ・ 分野に合わせて詳しく情報を得られるように。
- ・ 学生（先輩）や作品をメインに。

ご静聴ありがとうございました。